

3年生の様子

3年 担任 村山 理恵

3年生から社会科・理科・総合的な学習の時間と新たな教科が加わり、子供たちは期待に胸を膨らませ、とても意欲的に学習する姿が見られました。

理科では、種まきをしてハウセンカとひまわりの観察をしたり、モンシロチョウや蚕の幼虫の観察をしたりと、身近にある命の不思議を解決していました。また、ゴムや風の力の学習では、車の模型を走らせて実験を行い、力の大きさと物の動き方の関係について粘り強く調べていました。社会科では、大田区をめぐる社会科見学やスーパーマーケット見学など、子供たちが楽しみにしている校外での体験的な学習を行いました。見学のための事前学習にも真剣に取り組み、「知らなかったな。」「見学に行ったら確かめてみよう。」と、新たな発見に喜びを感じる姿が見られました。総合的な学習の時間では、『小池小トリビア』と題して、校内のことから「ハテナ」を見つけ、自分の知りたいことを調べる学習に取り組みました。一人一人が一生懸命調べた情報をパンフレットにまとめ、学校公開の際に発表をしました。

このように、新しい学習に対して積極的に学ぼうとする姿が素晴らしい3年生の子供たちです。9月からは運動会の練習が始まります。残暑が厳しい中でのスタートとなりますので、安全や健康に十分配慮し、このエネルギーをそのままに、2学期も充実した日々を送ってもらいたいと思います。

交通安全教室

生活指導主任 西川 鏡子

6月26日に3・4年生を対象として自転車教室を実施しました。大田区教育委員会の交通安全指導員の方から、「ヘルメットの必要性」「自転車運転の規則とマナー」「自転車の点検方法～ぶたはしゃべる～」などの内容について、スライドや映像や実際の自転車を用いた詳しい話を伺いました。

自転車は自動車の仲間であり、基本的には車道を走ること、小学生は特別に歩道を走ることができます。また、歩道では、歩行者優先であることや、自転車で走る時には、スピードを出しすぎないことが大切です。一歩間違えると、大事故につながり、加害者にもなりかねないということを、自転車安全教室を通して学び、自転車に乗る責任を3・4年生の子供たちが実感することができました。

自転車は、わたしたちの生活の中でとても便利な乗り物です。しかし、その裏にはたくさんの危険が潜んでいます。普段、何気なく当たり前を使う自転車だからこそ、その危険を見落としがちです。

小池小の周りは、坂道が多く、自動車にとっては幹線道路の抜け道になるような道路も多くあります。歩道と車道の区別が路側帯しかなく、交通量の多い道もあります。ご家庭でもお子さんと一緒に、安全な歩行や自転車の乗り方について話し合う機会をぜひつくっててください。